

令和7年度 事務事業評価（二次評価）

アンケート結果

（説明者編）

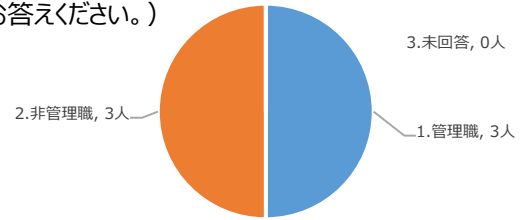
■ 令和7年度事務事業評価（二次評価）アンケート結果（説明者編） ■

回答数：6/6

1.職名について

■ 設問1 あなたの職名を教えてください。（10/1時点での職名でお答えください。）

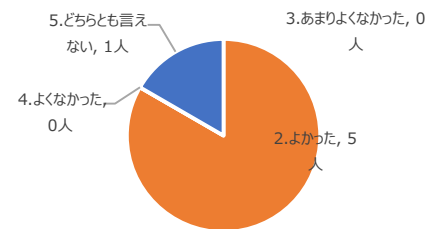
1.管理職	3人
2.非管理職	3人
3.未回答	0人



2.二次評価への参加について

■ 設問2-2 二次評価に参加してよかったですか？

1.とてもよかったです	0人
2.よかったです	5人
3.あまりよくなかった	0人
4.よくなかった	0人
5.どちらとも言えない	1人



※上記の回答を選択した理由を教えてください。

○よかったです

- ・ 行革推進委員の率直な意見を聴くことができました。
- ・ 事業の課題や問題点の気づきに繋がったほか、事業見直しの具体的な意見が聞けた。

これまでの二次評価では「何が何でも予算削減に向けて見直す」ように指摘されるイメージがあったが、前回の二次評価の指摘をきちんと対応したことをきっちり評価していただき、初めて「D（予算増減のない見直し）」評価を受けたため。

- ・ 評価者から新たな視点でのアドバイスがあったため。
- ・ 役場外の視点でのご意見等が聞けたのはよかったですと思います。

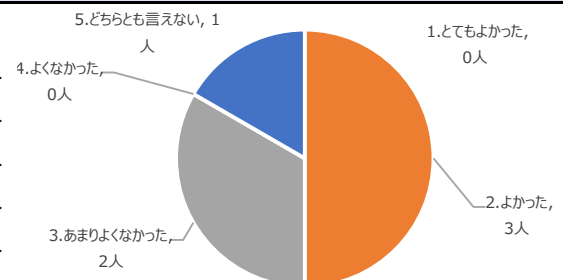
○どちらとも言えない

- ・ 行政が行っている事業を外部から見ていただき、行政の独りよがりな事業とならないようにすることは必要と考えますが、今回の事業は、政策的事業ではなく、行政としてやらなければならない事業であり、その点は外部委員の方も理解いただいていると考えており、今回の二次評価対象事業とするのは、どうだったのかと思うことがある。

3.二次評価の内容について

■ 設問3-1 評価シートの構成は分かりやすかったですか？

1.とてもよかったです	0人
2.よかったです	3人
3.あまりよくなかった	2人
4.よくなかった	0人
5.どちらとも言えない	1人



※上記の回答を選択した理由を教えてください。

○よかったです

- ・ 評価対象の事業について客観的に考えることができる良い機会だった。

○あまりよくなかった／よくなかった

評価シートのうち、「令和6年度事務事業 中事業別担当課による自己評価及び今後の方向性」（二次評価対象事業のみ作成）の「必要性」「効率性」「有効性」で項目が細かく分けられていたが、「評価に対する説明」の各項目に適した回答がしづらく、前後と同じ内容で回答せざるを得なかったから。（回答しづらくて2～3の項目を空白で回答提出したところ、「全てを埋めていただきたい」との指摘を受けて、渋々同じ文言の回答が重複した）

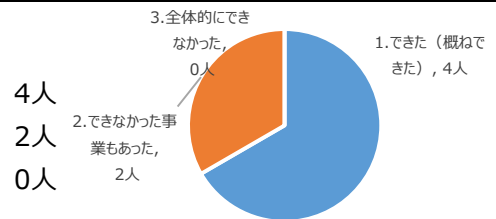
- 多くの内容を含んでおり、分かりづらく、書きにくいので、もう少し簡素化できないかと思います。

○あまりよくなかった／よくなかった

- 評価をするためには、あれくらいの内容は必要と思う反面、項目が多く、結果として細かなシートとなってしまう、事業の内容が伝わりにくいのではと思います。

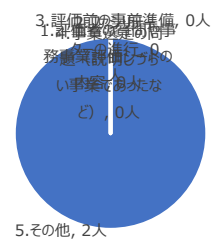
■設問3-2 評価者と十分な意見交換ができましたか？

- 1.できた（概ねできた）
- 2.できなかった事業もあった
- 3.全体的にできなかった



■設問3-3 設問3-2で「2.できなかった事業もあった」「3.全体的にできなかった」と回答された理由を教えてください。（複数回答可）

- 1.評価者の質問や事務事業評価シートの内容 0人
- 2.ファシリテーターの進行 0人
- 3.評価前の事前準備 0人
- 4.事業選定の問題（説明しづらい事業であったなど） 0人
- 5.その他 2人



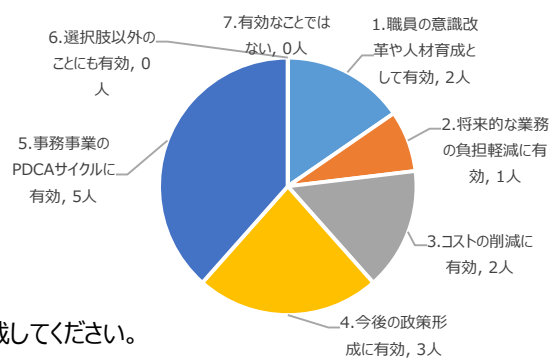
※上記で「5.その他」を選択した場合、その内容を記載してください。

- 1事業の評価だったが、時間が押していきつり詰めることができなかった。
- 事業の成り立ち等を理解していただくことが難しい面もあると思いますので、評価のやりとりも不十分になることがあります。
- 思います。

4.二次評価の有効性について

■設問4-1 二次評価は行財政経営マネジメントにとって有効だと思いませんか？（複数回答可）

- 1.職員の意識改革や人材育成として有効 2人
- 2.将来的な業務の負担軽減に有効 1人
- 3.コストの削減に有効 2人
- 4.今後の政策形成に有効 3人
- 5.事務事業のPDCAサイクルに有効 5人
- 6.選択肢以外のことにも有効 0人
- 7.有効なことではない 0人



※上記で「6.選択肢以外のこと」を選択した場合、その内容を記載してください。

- なし

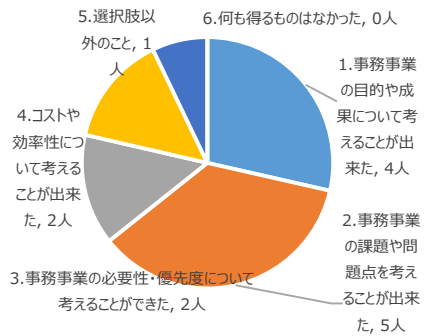
※上記の回答を選択した理由を教えてください。

- 担当する事業全体を考えることができた。
- 設問で回答したとおり。
- 何年か担当した事業なら、その事務事業に対する思いや意見も持てると思うが、4月に担当して直ぐに二次評価に対応しなければならない場合、事務事業に対するある程度の理解度で、十分な思いが持てないまま、対応しなければならなかったから。
- 事業継続の可否、事業のブラッシュアップには必要な作業と考える。

評価を受けることで、職員が「これまで通り」に事業を行うのではなく、今をしっかりと改善すべき点があれば、改善していく契機となる。
また過去に指摘を受けたことを受け、実際に事務事業の改善を行うことができた。

■設問4-2 二次評価に参加して得られたことはありましたか？（複数回答可）

- 1.事務事業の目的や成果について考えることが出来た 4人
- 2.事務事業の課題や問題点を考えることが出来た 5人
- 3.事務事業の必要性・優先度について考えることができた 2人
- 4.コストや効率性について考えることが出来た 2人
- 5.選択肢以外のこと 1人
- 6.何も得るものはなかった 0人



※上記で「5.選択肢以外のこと」を選択した場合、その内容を記載してください。

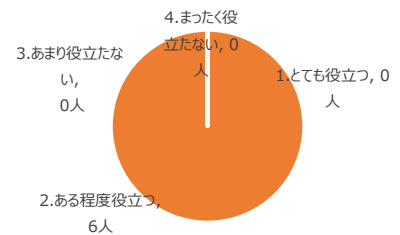
これまで気づけなかった事柄に対して、ご意見やご質問をいただけたことが、担当課以外の方はそのように認識されているのだなと気づく契機となった。

※上記の回答を選択した理由を教えてください。

- ・担当する事業全体を考えることができた。
- ・設問で回答したとおり。
- ・何とか課題までたどり着いたが、何年も担当した方と比べて、事務事業に対する理解度が、充分納得いく理解度まで達成できたかどうか疑問だから。
- ・評価者から成果指標や課題についての指摘、新たな視点でのアドバイスがあったため。

■設問4-3 二次評価を受けて、事業の課題や改善点の整理に役立ちそうですか？

- 1.とても役立つ 0人
- 2.ある程度役立つ 6人
- 3.あまり役立たない 0人
- 4.まったく役立たない 0人



5.次年度以降の改善点・ご意見

■設問5-1 二次評価について、次年度に改善すべき点等があれば教えてください。

- ・特になし
- ・特になし
- ・是非、数年担当した者の事務事業を対象にしてほしい。（事務事業に対する理解度が深くなり、二次評価に適した委員との前向きな遣り取りができると思われ、担当者の精神的負担も軽減できると思うため）
- ・事務事業評価自体は必要と考えるが、職員のマンパワーが不足している中、調書の作成は一定の事務負担となっていることは事実とおもいます。
- ・事務事業（2次評価以外でも）で廃止すべきとなった事業でも、そのまま継続となっているものがほとんど。担当者、担当課レベルでは廃止しづらい事業であり、その点は理事者が先頭にたち住民に説明するなどし、廃止をおこなってほしい。実際に廃止ができれば職員の事務事業評価に対する考え方も大きく変わると思う。

■設問5-2 二次評価に関するご意見・感想がありましたらご記入ください。

- ・外部団体等が所管する事業又は委託する事業などについて事務事業評価する場合は、YouTubeによる評価内容の公開は、評価者と対象団体との関係性を配慮し、部分公開等にするべきだと思う。
- ・二次評価の意義は理解しているつもりであるが、対象となった事務事業の担当の理解度が違えば（担当した年数が浅いと、どうしても理解度は低くなる）、事務事業評価の役割りを充分果たせないことが出てくるのではないかと危惧します。
- ・せめて2年以上担当した事務事業を評価の対象にしてほしい。